

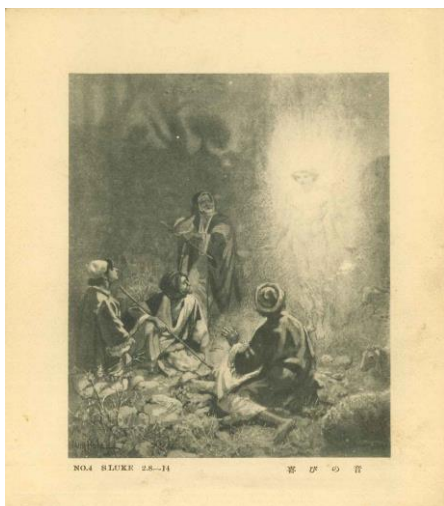
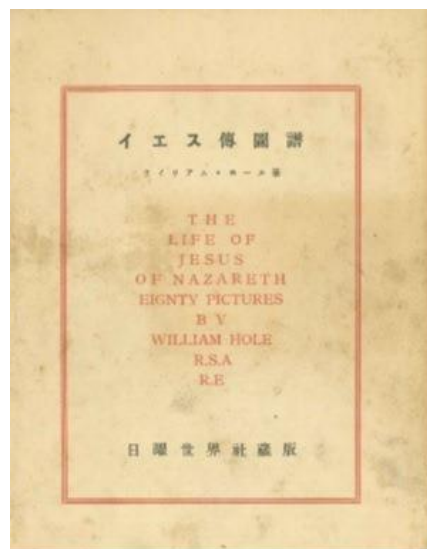
右の画像は『イエス傳圖譜』といい、大正13年に発行された図譜です。図譜とは絵を中心にして説明文を添えた本です。

作者はウィリアム・ホールとしか分かりませんが、発行所は大阪の「日曜世界社」で、キリスト教会の日曜学校備品、カード類、「聖書昔ばなし」などの刊行・販売を行っていました。編集兼発行人は西阪保治で牧師、聖書学者でありました。

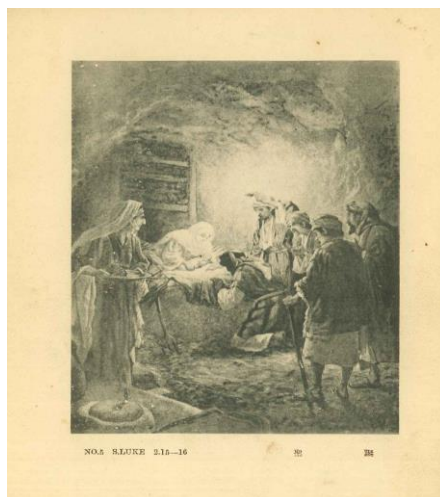
現在の所有者は寺本司祭夫人の寺本敦子さんで、父君の平富儀さんがお求めになられたものであるとの事。敦子さんは、幼稚園の教諭時代にこれで子どもたちにお話をされていたそうです。

壹圓八十銭とありますが、なかの図だけで80ページあり、表紙、目次が欠落なくあり、外函までもが完全に揃っています。とても貴重なものと思われませんが、これを使ってお話をされていた様子を想像しますと何か不思議な気持ちがします。

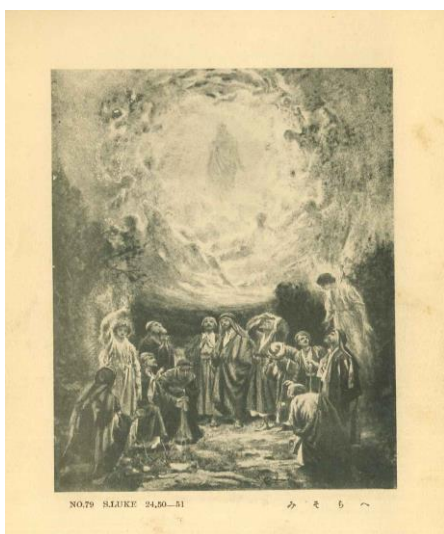
「羊飼いへのみ告げ」から「イエスの復活・昇天、最後に聖霊降臨」まで緻密な画法で描かれています。



羊飼いへのみ告げ



御子の誕生



イエスの昇天



聖霊降臨